順列と組合せ

基本の計算

- 3 つの計算式 違い ―

•

約数の個数と展開式の項の個数と総和 -

- 1. 200 の正の約数の個数と総和を求めよ。
- 2. 360 の正の約数の個数と総和を求めよ。

文字の順列 a,b,c,d,e を 1 列に並べる -

- 1. a,b が隣り合う並べ方
- 2. a,b が両端にくる並べ方

- 数字の順列数字の順列 0,1,2,3,4 の5つの数字が1つずつある-

- 1.3 桁の整数
- 2.3 桁の暗証番号
- 3.3 桁の偶数
- 4. 3 桁の整数のうち、300 以上の整数

- 円順列とじゅず順列 —

- 8種類の球を用いて次の場合の数を求めよ。
 - 1. 円状に並べる方法
 - 2. じゅずを作るときの方法

- 条件付き円順列 -

先生2人と生徒4人が円形のテーブルに座るとき、次の場合の数を求めよ。

- 1. すべての座り方
- 2. 先生 2 人が隣り合う座り方
- 3. 先生 2 人が向い合う座り方

重複を許す順列 -

- 1. a,b,c,d,e の5つの文字から、重複を許して3つの文字を一列に並べる並べ方
- 2. 0, 1, 2, 3, 4 の 5 つの数字から、重複を許して 3 桁の自然数を作る作り方

2つのグループに分ける -

- 9人を以下の方法で分ける場合の数を求めよ。
 - 1. A、Bの2部屋に分ける方法(ただし、空室があってもよい)
 - 2. A、B の 2 グループに分ける方法
 - 3. 2つのグループに分ける方法

- 順列と組合せ -

- a,b,c,d,e の5つの文字がそれぞれ1つずつあるとき、次の問いに答えよ。
 - 1. 3つの文字を選び一列に並べるときの場合の数
 - 2. 3つの文字を選ぶときの場合の数

- 図形と組合せ -

- 1.5本の平行線と、それとは別の3本の平行線とが交わってできる平行四辺形の数
- 2. 正八角形について、頂点を結んでできる三角形の個数
- 3. 正八角形について、頂点を結んでできる対角線の本数

- 代表を選ぶ -

男子5人、女子4人から代表を3人選ぶ。このとき、次の場合の数を求めよ。

- 1. すべての選び方
- 2. 男子1人、女子2人となる選び方
- 3. 少なくとも女子1人を選ぶ選び方
- 4. 男子から3人、または女子から3人を選ぶ選び方

3つのグループに分ける -

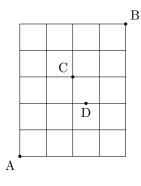
- 9人を以下の方法で分ける場合の数を求めよ。
 - 1. 3人ずつ A、B、C の 3 部屋に分ける
 - 2. 3人ずつ3組に分ける
 - 3. 4人、3人、2人に分ける

- 同じものを含む順列 -

- 1. a,a,b,b,b,c,d の7つの文字を一列に並べる
- 2. a,a,b,b,c,d,e の7つの文字を一列に並べるとき、c,d,e がこの順になる

- 最短経路問題 -

- 1. A から B までの最短経路
- 2. A から B までの最短経路で C を必ず通る経路
- 3. AからBまでの最短経路でDを通らない経路



重複組合せ

- 1. 6本の同種類のペンを A、B、C の 3 つの袋に入れるとき、1 本も入らない袋があってよいとき、分け方は何通りあるか。
- 2. オレンジ、レモン、ライムがそれぞれ多数ある。これから 10 個をまとめてセットを作りたい。何通りのセットができるか。

等式を満たす整数 -

- 1. x + y + z = 10(x, y, z : 0 以上の整数) の時の組合せ
- 2. x + y + z = 10(x, y, z : 自然数) の時の組合せ

確率

確率の基本 -

コインを3枚同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

- 1.2 枚だけ表である確率
- 2. 表が2枚以上である確率

さいころの確率 -

さいころを2個同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

- 1. 目の和が8となる確率
- 2. 目の和が 10 以下となる確率

ボールを取り出す確率 —

赤玉5個と白玉7個が入った袋から同時に3個取り出すとき、次の確率を求めよ。

- 1. 白玉3個となる確率
- 2. 赤玉1個、白玉2個となる確率
- 3. 赤玉 2 個、白玉 1 個となる確率

一列に並べる確率 -

男子5人、女子4人が1列に並ぶとき、次の確率を求めよ。

- 1. 特定の男女が隣り合う
- 2. 女子が両端にいる
- 3. 男女が交互に並ぶ

- 円形に並べる確率 -

男子3人、女子3人が円卓にする座るとき、次の確率を求めよ。

- 1. 特定の 2 人が隣り合う
- 2. 特定の 2 人が向い合う
- 3. 男女が交互に座る

・和事象と排反事象・

1~50までの数字が書かれたカードから、1枚取り出すとき、次の確率を求めよ。

- 1. 2の倍数または一の位が3である2桁の数
- 2. 2の倍数または3の倍数

- 余事象の確率 —

- 1. 赤玉5個と白玉7個が入った袋から同時に3個取り出すとき、少なくとも赤玉1個を取り出す確率を求めよ。
- 2. さいころを2個同時に投げるとき、目の和が3の倍数でない確率を求めよ。

- 独立試行の確率 -

A の袋には赤玉 3 個と白玉 2 個が、B の袋には赤玉 2 個と白玉 4 個が入っている。A からは 1 個、B からは 2 個の玉を取り出すとき、取り出した玉の色がすべて赤となる確率を求めよ。

- 反復試行の確率 (コイン) **-**

- 1枚のコインを5回連続して投げるとき、次の確率を求めよ。
 - 1. 表がちょうど4回出る
 - 2. 表がちょうど3回出る

- 反復試行の確率(さいころ) —

- 1個のさいころを5回連続して投げるとき、次の確率を求めよ。
 - 1. 3 の倍数の目が 2 回だけ出る
 - 2. 3 の倍数の目が 3 回だけ出る
 - 3. 少なくとも1回3の倍数の目が出る

勝先取の確率 -

 $A \ B \$ が試合をし、先に $3 \$ 勝した方が優勝とする。 $A \$ が勝つ確率が $\frac{3}{4} \$ のとき、 $A \$ が優勝する確率を求めよ。

- 点が動く確率 ----

数直線上に点 P が原点にあり、さいころを投げて 5 以上の目が出ると正の方向に 2 進み、それ以外が出ると負の方向に 1 進む。さいころを 3 回投げたとき点 P が次の位置にある確率を求めよ。

- 1. 原点の位置にある
- 2. 座標3の位置にある

- 条件付き確率 --

ある学校で数学が好きな生徒は 40% で、英語が好きな生徒は 60% で、両方好きな生徒は 30% である。

- 1. ある生徒が数学を好きとわかっていて、その生徒が英語も好きな確率
- 2. ある生徒が英語を好きとわかっていて、その生徒が数学も好きな確率

- 確率の乗法定理 –

10 本中当たりが 3 本入ったくじがある。このくじをAが 1 本引き、引いたくじを元に戻さずに続けてBが引いた。このとき、AとBのそれぞれが当たる確率を求めよ。

数 A 311

図形

内分と外分

- 例題 -

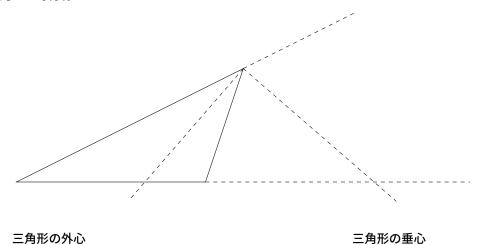
1. 線分 AB を 3:1 で内分する点 P

2. 線分 AB を 2:1 で外分する点 Q

3. 線分 AB を 1:3 で外分する点 R

A B

角の二等分線



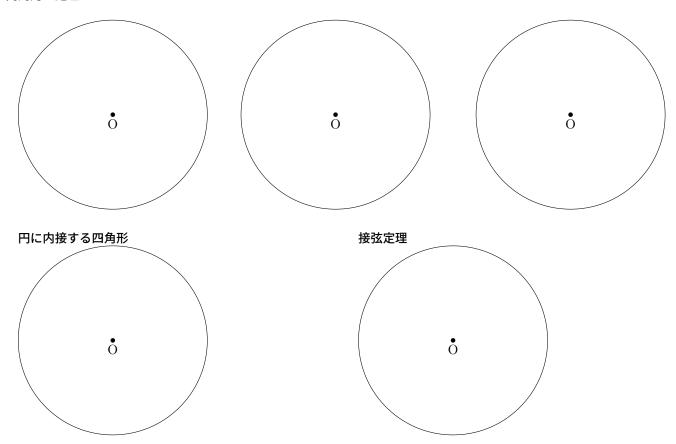
三角形の内心

三角形の重心

チェバの定理

メネラウスの定理

円周角の定理



方べきの定理

• 接線でない場合

• 接線の場合

数 A 311

円と接線の関係

二つの円と共通接線の本数 (5)

整数

用語

- 素数
- 互いに素
- 既約分数

倍数判定法

- 2 の倍数
- 3 の倍数
- 4 の倍数

- 5 の倍数
- 8 の倍数
- 9 の倍数

最小公倍数と最大公約数

- 例題 1 —

1. (a) 75, 105

- (b) 42, 78, 273
- 2. 2つの自然数の最大公約数が6、最小公倍数が420であるとき、この2つの自然数の組をすべて答えよ。

ユーグリッドの互除法

- 例題 最大公約数を求める -

- 1. 407,77
- 2. 336, 180

不定方程式

例題 -

- 1. 5x + 2y = 0
- 2. 5x + 2y = 1
- 3. 5x + 2y = 2
- 4. 44x + 35y = 1
- 5. 44x + 35y = 3

数 A

n 進法

例題 -

1. $11010_{(2)}$

2. 2121₍₃₎

 $3. 3A_{(16)}$

4. 38[2]

5. 439[5]

6. 91[16]

例題 (小数) -

 $1. \ 0.101_{(2)}$

 $2. 11.231_{(5)}$

3. 0.625[2]

4. 6.728[5]

合同式

定義 $a \equiv b \pmod{m}$

- 例題 -

- 1. 15 の 50 乗を 7 でわったあまりを求めろ
- $2. x + 4 \equiv 2 \pmod{6}$
- 3. $3x \equiv 4 \pmod{5}$
- 4. 472011 の一の位